

「全麵協通信 3号」を発行しました！



はじめに

新型コロナウイルス感染拡大は、全麵協会員・個人会員が直接会って「情報交換」することが出来難い状況にあります。広報渉外部はこの時にこそ、会員の「目と耳」としての役割を担って広報に努め、全麵協個人会員と全麵協本部・支部とをつなぐ「情報の交流」支援に努めます。

このたび、「全麵協通信 3号」を発行しましたのでその概要についてお知らせします。

「全麵協通信 3号」の内容

①ガイドライン制定後「そば道段位認定会」初開催

第2回理事会(7月16日)にて、With コロナの状況下で社会的な評価を得ながら「そば道段位認定会」を開催・運営する「ガイドライン」を制定しました。このガイドライン制定後から、全国で最初となる「そば道段位認定会」が8月1日に北海道北竜町で開催されました。主催者は「そば食楽部 北竜(中村尚一 代表)」で、開催の検討から準備、当日の運営等について順を追って掲載しています。

②Facebook「全麵協そば仲間」の開設

全麵協の会員は、コロナ禍のために全国の仲間と直接会っての交流に支障が出ています。これを改善するため、世界最大のSNS、Facebook(フェイスブック)に、全麵協会員交流ページ「そば仲間」を開設しました。SNSは情報の「発信・共有・拡散」を行うことが出来る通信サービスで、社会的な(ソーシャル)繋がり(ネットワーキング)が出来る仕組み(システム)です。その概要やつながり方、活用の仕方などについて掲載しています。

③「全麵協会報 10号」発刊予定のお知らせ

現在、編集作業を進めている「全麵協会報10号(16ページ構成)」に掲載される記事内容についてお知らせしています。「全麵協会報10号」は全麵協会費を納めている個人会員・特別個人会員のご自宅へ郵送され、10月初旬のお届けを予定しています。

「全麵協通信」とは？

「全麵協通信」はA4版の新聞で、原則として月に1回発刊し、伝えたい情報が多い時は複数回発行します。配信方法は本部から支部へとメール送信します。支部は支部管内の全麵協会員に「メールまたは郵送」し、受けた全麵協会員(団体)は所属する個人会員にメール送信、またはプリントアウトして渡すなど、一人一人に確実に届くように配布の協力を仰ぐこととします。「全麵協通信」はコロナ禍中における、緊急的な情報伝達ツールと考えています。また、全麵協ホームページにも掲載して、ダウンロードできるようにしています。

(執筆者:広報渉外部・谷端)

全麵協本部では、「With コロナ」に対応するための活動準備を着々と進めています。その取り組みを、「ホームページ」「全麵協通信」等を通じて皆様にお伝えします！